

週刊 タバコの正体

タバコを吸うには、“火”が必要です。紙で巻いたタバコの葉っぱを燃やして、その煙を吸うという行為が喫煙です。こう表現すると、すごく野蛮で原始的な響きがして現代人には似合いませんよね。

じつは、そんな野蛮な行為が火事の原因となっているのです。右のグラフを見てください。消防庁が発表した昨年の1月～6月の出火原因を示していますが、なんと世間の火事の10%はタバコの火が原因なのです。タバコは、その煙だけではなく“火”も世の中に大きな損害を与えているわけです。

そして、左の画像は火の付いたタバコを布団に落とした実験です。すぐに炎が出なくても2時間以上もくすぶり続けます。

こんな怖いものに手を出さずに気になれますか？
火事を起こしても責任をとれますか？

産業デザイン科 奥田 恭久

